

平成31年度高校生に聴講を開放する授業題目について

1 開放期間

(1) 前期 平成31年 5月27日(月)～ 7月19日(金)

(2) 後期 平成31年10月21日(月)～11月29日(金)

2 授業時間(前期・後期も同じ)

| | |
|--------|---------------|
| 1-2時限 | 8時40分～10時10分 |
| 3-4時限 | 10時20分～11時50分 |
| 5-6時限 | 12時40分～14時10分 |
| 7-8時限 | 14時20分～15時50分 |
| 9-10時限 | 16時00分～17時30分 |

[国語教育講座]

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|------|-------|------------|-------------------|-----|
| 前期 | 火 | 9-10 | 小林(正) | 日本語学演習(近世) | 断本を読む。 | |
| 前期 | 水 | 1-2 | 河内 | 国語教育演習D | 国語の授業づくりの方法と模擬授業。 | |
| 後期 | 月 | 9-10 | 小林(正) | 日本語学演習(中世) | 古狂言台本を読む。 | |
| 後期 | 火 | 9-10 | 小林(正) | 基礎国語学 | 日本語研究の基礎知識を修得する。 | |
| 後期 | 金 | 7-8 | 河内 | 国語教育演習C | 小中学校国語教科書の教材研究 | |

[社会科教育講座]

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|------|-------|---------------|----------------------------------|-----|
| 前期 | 月 | 9-10 | 関戸 | 外国地誌B | ヨーロッパ地誌を取り上げる。 | |
| 前期 | 火 | 7-8 | 小谷 | 倫理学概論A | 西洋倫理学の理論・歴史を高校倫理の教科書と関連させながら学ぶ。 | |
| 前期 | 金 | 5-6 | 今井 | 東洋史概説A | 清末から現代までの中国近現代史。 | |
| 後期 | 火 | 7-8 | 小谷 | 哲学概論 | 何人かの哲学者の議論を検討し、哲学的思考法を鍛える。 | |
| 後期 | 木 | 1-2 | 斎藤(周) | 法律学概論(国際法を含む) | 人権・平和・民主主義とそれを支える仕組みを学ぶ。 | |
| 後期 | 木 | 7-8 | 今井 | 日中関係史 | 近代日本の海外移住と中国 ～上海と満州を中心に～ | |
| 後期 | 金 | 1-2 | 今井 | 東洋史概説B | およそ明清交代期～清末までの中国近代史と日中関係史・比較史 | |
| 後期 | 金 | 5-6 | 小谷 | 倫理学概論B | 応用倫理学(環境・生命倫理学など)を中心に現代の諸問題を考える。 | |

[英語教育講座]

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|-----|------|-----------------------|---|-------------|
| 前期 | 火 | 7-8 | 上原 | 英語科教材研究I | 中学校英語授業の教材・指導案の作成・研究をする。実際の授業の場面を想定した模擬授業を行う。またALTとのチームティーチングを想定した教材・授業のあり方と意志疎通の仕方を学ぶ。 | 期間中1回、10名まで |
| 前期 | 木 | 1-2 | 山田 | 言語の特質I： ことばの科学への招待 | 国語の授業でも英語の授業でもない！ようこそ、言語学(ことばの科学)の授業へ。現代言語学の入門。音韻・形態論(語形成論)、統語論、意味・語用論と呼ばれる分野を概観し、英語教員として必要な英文法について理解する。授業の主要テーマは、様々な言語現象を観察し、人間言語の「なぜ？」を味わうこと。 | 5名まで |

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|-----|---------|---------------------------|---|-------------------|
| 前期 | 木 | 7-8 | 田中(一) | 言語文化論 I | 言語学の基礎を学びながら、言語の構造と機能を理解することを通して、言語と文化に対する認識を深める。 | 数名まで |
| 前期 | 金 | 5-6 | フーゲンブーム | Reading and Writing I | All writing must be organized carefully. In this course, students produce English paragraphs on a variety of topics using appropriate patterns of organization, such as 'time order' (narration, process), 'spatial order' (physical descriptions) and 'listing' (information, cause/effect, comparison/contrast, problem/solution). Also, extensive reading journals will be maintained. Attention will be given to grammar and discourse. | 10名まで |
| 前期 | 金 | 7-8 | フーゲンブーム | Listening and Speaking I | This course focuses on the fluency and accuracy aspects of spoken English communication. Activities are both extensive (extensive listening & listening response journals; informal interaction) and intensive (accurate production, formal presentations). Activities will include extensive listening, recorded audio journals, formal/informal group discussions, oral presentations/demonstrations, and EIKEN Grade Pre-1 preparation. | 10名まで |
| 後期 | 月 | 7-8 | 上原 | 英語科教材研究 II | 中学校英語授業の教材・指導案の作成・研究をする。実際の授業の場面を想定した模擬授業を行う。またALTとのチームティーチングを想定した教材・授業のあり方と意志疎通の仕方を学ぶ。 | 期間中 1 回 、10名まで |
| 後期 | 木 | 1-2 | 山田 | 言語の特質 II : ことばの獲得と学習 | ことばの獲得と学習の入門。第一言語獲得理論と第二言語習得理論を概観し、子ども(赤ちゃん)の母語獲得と大人の第二言語習得を比較対照する。同時に、外国語(英語)活動と外国語(英語)科について考える。 | 5名まで |
| 後期 | 金 | 5-6 | フーゲンブーム | Reading and Writing II | This course expands topics and activities of Reading and Writing I, including the advancement of English paragraphs into short essays. | 10名まで |
| 後期 | 金 | 7-8 | フーゲンブーム | Listening and Speaking II | This course expands on the skill development activities of Semester 1. | 10名まで |

[数学教育講座]

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|-----|------|---------|-----------|-----|
| 前期 | 木 | 5-6 | 伊藤 | 解析学の基礎 | 微分積分の基礎 | |
| 前期 | 木 | 7-8 | 照屋 | 統計学 | 統計学入門 | |
| 前期 | 金 | 5-6 | 石井 | 線形代数学 I | 行列および行列式 | |
| 前期 | 金 | 7-8 | 山本 | 集合と論理 | 論理と集合論の基礎 | |

[理科教育講座]

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|------|------|---------|--|-----|
| 前期 | 火 | 9-10 | 岩崎 | 気象学 | 気象学に関する基礎的知識(降水形成過程・大気力学) | |
| 前期 | 木 | 1-2 | 早川 | 火山学 | 多様な火山噴火とそれによって生じる地形の違いをまず論じる。それをふまえて過去の噴火を調べる方法を解説し、そうして獲得した事実を教訓として未来の災害にいかにかに備えるかを探る | |
| 後期 | 金 | 7-8 | 寺嶋 | 光学 | 光の基本的な性質や伝わり方について学ぶ。 | |
| 後期 | 月 | 9-10 | 青木 | 力学 | 物理学の基本概念、運動学、質点の力学など。 | |

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|-----|------|---------|---|-----|
| 後期 | 火 | 3-4 | 佐野 | 植物学B | 植物の環境応答について分子生物学的な解析の成果も含めて概説する。 | |
| 前期 | 火 | 7-8 | 岸岡 | 無機化学 | 無機化合物、元素について解説する。 | |
| 後期 | 金 | 3-4 | 早川 | 地質学 | 地学を高校で履修した学生がごく少数である現状を踏まえて、高校地学教科書のうち固体地球にかかわる範囲を概説する。最後に、日本の地形と地質の特徴をグローバルな視点から論じる。 | |

〔音楽教育講座〕

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|------|-------|------------|---|-----|
| 前期 | 月 | 7-8 | 中里 | 中学校音楽科指導法A | 中学校音楽科教育法及び授業研究 | |
| 前期 | 火 | 5-6 | 菅生 | 管弦打楽器演習 | 管弦打楽器の基礎的な演習 | |
| 前期 | 火 | 7-8 | 三國 | ピアノ演習 | ピアノ演奏に必要な技術の習得 | |
| 前期 | 火 | 7-8 | 菅生 | 邦楽器演習 | 箏曲を中心とする邦楽器の演習（楽器台数及び教室のスペースの都合で受講者制限する場合があります） | |
| 前期 | 木 | 5-6 | 西田 | 和声学I | 主要三和音、第1、第2転回位置、V7の和音までの理論と演習 | |
| 前期 | 木 | 7-8 | 山崎 | 合唱 | 広範囲の合唱演習 | |
| 前期 | 木 | 9-10 | 菅生 | 室内楽 | アンサンブルによる基礎的な室内楽演習 | |
| 後期 | 月 | 7-8 | 吉田(秀) | 中学校音楽科指導法B | 中学校音楽科教育法及び授業研究 | |
| 後期 | 火 | 9-10 | 三國 | ピアノ演習 | ピアノ演奏に必要な技術の習得 | |
| 後期 | 木 | 7-8 | 山崎 | 合唱 | 広範囲の合唱演習 | |

〔美術教育講座〕

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|------|------|-----------|---------------------------------------|------|
| 前期 | 火 | 7-10 | 林 | 彫刻II | 材料研究と塑造の基礎演習 | 3名まで |
| 前期 | 水 | 3-4 | 郡司 | 美術教育研究A | 中学校美術科における授業の具体的な問題を取り上げた演習 | |
| 前期 | 木 | 7-9 | 林 | 彫刻I | 立体造形概観及び材料研究と彫刻制作の基礎実習 | 3名まで |
| 前期 | 金 | 5-8 | 齋江 | デザインII | 主にグラフィック関連作品の制作実習 | |
| 後期 | 水 | 3-4 | 茂木 | 美術科指導法C | 中学校美術科におけるカリキュラム論、教材論、授業方法論等に関する講義 | 5名まで |
| 前期 | 木 | 5-6 | 喜多村 | 素描I | 素描の制作及び素描論の演習 | 3名まで |
| 後期 | 木 | 9-10 | 郡司 | 図工科指導法(一) | 小学校図画工作科の目標、内容、指導法等に関する講義。 | |
| 後期 | 金 | 5-7 | 齋江 | デザインI | デザインに関する基礎造形の実習（レタリング・平面構成・色彩基礎を主とする） | |

〔保健体育教育講座〕

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|-----|------|------------|---|-----|
| 前期 | 火 | 7-8 | 木山 | 保健体育科指導法II | 中学校体育分野の目標および学習内容に応じた授業づくり、学習指導、評価について、模擬授業の実施を通して理論的・実践的に理解を深め、教科指導力を育成する。 | |
| 前期 | 木 | 5-6 | 中雄 | 運動方法学 | 運動中の様々な動作について、その特性を客観的にとらえる能力を身につけることを、いくつかの代表的なスポーツを取り上げて学習する。 | |

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|------|------|-----------|--|-----|
| 前期 | 木 | 7-9 | 木山 | ダンス実習 | ダンスの特性や基礎的基本的技能について学ぶとともに、中学校を中心とする指導法について講義、実技をまじえ習得をめざす。 | |
| 前期 | 金 | 5-6 | 新井 | 保健体育科指導法Ⅲ | 中学校保健体育科保健分野の目標、学習内容と指導法、評価について概説する。 | |
| 後期 | 月 | 7-8 | 新井 | 学校保健Ⅰ | 学校保健の基本的な視点についての講義を行い、教育現場における保健活動の役割について考察する。(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。) | |
| 後期 | 月 | 9-10 | 新井 | 学校安全と救急法 | 教育現場で起こりやすい事故や怪我の事例について学習し、いかに事故や怪我を防止するかや起こってしまった時の対処の方法について学習する。 | |

[家政教育講座]

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|-----|------|----------|---------------|-----|
| 前期 | 月 | 1-2 | 講座教員 | 初等科家庭(一) | 家庭科についての基礎的理解 | |
| 前期 | 火 | 3-4 | 講座教員 | 初等科家庭(二) | 家庭科についての基礎的理解 | |
| 後期 | 火 | 3-4 | 講座教員 | 初等科家庭(三) | 家庭科についての基礎的理解 | |

[学校教育講座・教職リーダー講座]

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|------|-------|-------------|--|---|
| 前期 | 月 | 1-2 | 三澤 | 教育の思想と歴史(一) | 日本および欧米の教育思想を歴史的背景とともに紹介し、「教育とは何か」を検討する。 | 第2回-7回まで |
| 後期 | 月 | 1-2 | 三澤 | 教育の思想と歴史(二) | 日本および欧米の教育思想を歴史的背景とともに紹介し、「教育とは何か」を検討する。 | 第2回-7回まで |
| 前期 | 月 | 5-6 | 佐藤(浩) | 幼児の学習 | 乳幼児の言葉の発達について検討する。幼稚園教諭免許の関連科目 | 期間中1回、20名まで |
| 前期 | 火 | 7-8 | 大島 | 幼児心理学特講 | 乳幼児の心の発達について学ぶ。 | |
| 前期 | 木 | 1-2 | 高橋(望) | 教育の制度(一) | 教育に関するさまざまな法制度について、具体的事例に即して概説する。 | |
| 前期 | 木 | 5-6 | 田村 | 学校教育原論 | 学校教育をめぐる諸課題(教科指導、生徒指導、教育相談、学校経営等)について、現場の状況を具体的に踏まえながら論じる。 | 期間中1回、5名まで |
| 後期 | 火 | 5-6 | 山口 | 発達・教育心理学(二) | 誕生から青年前期までを中心に発達全般を概観するとともに、学習や記憶、認知などの教育心理学の諸問題を考察する。 | 2名の教員で分担して教えているので、山口担当のコマの中で実施(10名程度まで) |
| 後期 | 木 | 1-2 | 新藤 | 教育の制度(二) | 教育の制度と社会との関わりについて、具体的問題に即して概説する。 | |
| 後期 | 木 | 9-10 | 音山 | 心理教育統計の基礎 | 心理教育統計法のうち、基礎統計領域(正規分布と相対的位置、回帰、母集団と標本、統計的検定と効果量の基本的考え方。検定は2要因分散分析、カイ2乗検定程度まで)を扱う。 | |

[障害児教育講座]

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|-----|------|----------|---|-----|
| 後期 | 木 | 5-6 | 霜田 | 知的障害教育総論 | 知的障害教育の歴史，知的障害教育の教育課程・方法，ライフステージに応じた知的障害教育のあり方等を講義する。 | |
| 前期 | 火 | 7-8 | 金澤 | 聴覚障害教育総論 | 聴覚障害児の教育の現状と課題について概説する。 | |
| 前期 | 木 | 5-6 | 金澤 | 障害児教育制度 | 障害児教育の制度全般について概説する。 | |

[学校教育臨床総合センター]

| 学 期 | 曜 日 | 時 限 | 担当教員 | 授 業 題 目 | 授 業 内 容 | 備 考 |
|-----|-----|-----|--------------|--------------------------|--|-----------------------|
| 前期 | 水 | 1-2 | 岩瀧 | カウンセリング演習 | ロールプレイなどを用いて基礎的なカウンセリングスキルを習得するとともに，教育領域において多く取り入れられている心理療法を体験的に学ぶ。また，代表的な心理検査，知能検査などについても知見を深めていく。 | 資料の準備のため1週間前までに連絡のこと。 |
| 前期 | 水 | 1-2 | 吉田(浩) ・安藤 | 特別活動(初等)／ 特別活動(中等)(一) | 実際に教師の日常的職務活動の具体的場面に即して，教室レベルの特別活動のカリキュラム開発の体験活動を通して，教育実践者として，特別活動のカリキュラム開発のリアリティに接近する。 | |
| 後期 | 水 | 1-2 | 吉田(浩) ・安藤 | 特別活動(初等)／ 特別活動(中等)(二) | 実際に教師の日常的職務活動の具体的場面に即して，教室レベルの特別活動のカリキュラム開発の体験活動を通して，教育実践者として，特別活動のカリキュラム開発のリアリティに接近する。 | |
| 前期 | 木 | 5-6 | 吉田(浩) | 生徒指導・生活指導 (中等)(二) | 生徒指導の専門的知識・理論と事例を一体として示し，開発的，予防的，対処的な指導・援助が想定できるようにする。また，深刻な教育課題である「いじめ」についても，法律に則った教育現場での対応事例を示す。受講生が「自分であればどうするか」の視点に立ち，生徒指導の実践力について理解を深めていくようにする。 | |